



平成25年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力  
「対がんセンター医療機器整備計画」  
引渡式

2014年8月28日、パナマ市ベジャ・ビスタ地区において、「対がんセンター医療機器整備計画」の引渡式が行われました。同式典には磯部大使をはじめ、モイセス・エスピノ・ドゥラン全国対がん協会代表、フリオ・サンタマリア保健大臣顧問、その他多くの方々が出席しました。

この対がんセンターでは、主に婦人科と内科の診察が行われており、患者の8割は女性で、女性特有のがんの診察・検診のため、同センターを訪れています。しかし、増加傾向にある診察希望者数に対して、医療機器が不足していたため、同センターを訪れる患者はすぐに診察を受けることができず、支障をきたしていました。

こうした中、日本政府は、がんの予防・早期発見・治療を目的とする全国対がん協会の活動を支援するため、デジタル超音波機器等の供与を行いました。

今回の供与により、必要な医療機器が整い、増加傾向にある診察希望者への早期対応が可能となるほか、新しくエコー検査を実施することが可能となりました。

【供与額:59,733米ドル】



磯部大使と全国対がん協会代表によるテープカット



全国対がん協会からの感謝状の授与



供与されたデジタル超音波機器